

【6年生】英検 ESGに挑戦しました！

3・4年生で学習した外国語活動、5年生から学習している外国語科の授業を通して、どの程度英語の力が付いたのかを確かめるため、6年生が英検 ESGに挑戦しました。

英検 ESGは、日本英語検定協会が開発したテストで、“ESG”とは、Elementary School Goalsの頭文字を指し、児童が「英語でどのようなことができるようになったのか」を客観的指標を通して測定するものです。英検〇級のように、合否で判定されるものではなく、スコアで測定されます。今回は、瑞穂市の取組として、市の予算で市内全ての小学校6年生が受験しました。

テストは30分間でリスニング（聞く）とリーディング（読む）の問題に挑戦しました。初めて挑戦するテストでしたが、さすが『英語のまち みずほ』の6年生！—子どもたちに感想を聞くと「おもしろかった！」、「思ったよりできた！」、「自分の力を發揮できた！」など、前向きな声を聞くことができました。結果が返ってくるのが楽しみですね。

今回の機会を通して、子どもたちがますます英語学習に興味をもち、力を伸ばしていくことを願っています。

